

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回 飯塚市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和7年3月27日(水) 14:00 ~ 15:00
開催場所	飯塚市役所 穂波庁舎 2階 202会議室
出席委員	青柳委員、杉委員、河委員、馬奈木委員
欠席委員	麻生委員、赤間委員、佐藤委員、久家委員
事務局職員	石田慎二企業管理者、今仁康企業局次長、田中善広企業管理課長、大庭宗嗣上水道課長、西岡真結下水道課長、永末良一上水道課長補佐、渡邊勉上水道課長補佐、大谷剛下水道課長補佐、手柴弘美企業管理課長補佐、生山真希財務係長、高橋秀太経営係主任、本井淳志参与
会議内容	議題1 令和7年度水道事業等の予算について
会議資料	資料-1-1 公営企業会計 令和7年度 飯塚市水道事業会計予算 資料-1-2 公営企業会計 令和7年度 飯塚市工業用水道事業会計予算 資料-1-3 公営企業会計 令和7年度 飯塚市下水道事業会計予算 資料-1-4 令和7年度飯塚市公営企業会計予算書 資料-1-5 令和7年度飯塚市公営企業会計予算資料 資料-1-6 資料1-1、1-3 補足資料 資料-1-7 下水道管路緊急点検資料
公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 1 公開      2 一部公開      3 非公開 (傍聴者 0人)
その他	

会議内容

1 議事

(1) 令和7年度水道事業等の予算について

○事務局より各事業（上水、工水、下水）について、資料 1-1～1-6 を用いて説明

●水道事業

(委員) 現在、水道事業全体を外部委託しているのか。

(事務局) 料金収納等については外部委託を行っているが、事業全体の委託は行っていない。

(委員) 水道施設の規模に対して人口が減少しているため、施設規模が過剰となり、水が余っているのではないか。人口数に合わせて施設規模を縮小することは難しいとは思うが。

(事務局) 使用水量は人口減少や節水機器の普及によって減少傾向にあるが、水源についてはダムや河川については雨が少ない等の理由で水量が少ないこともあるため、水が潤沢にあるというわけではない。将来的に施設更新の際には施設能力や規模の見直しも含め検討する予定としている。

(委員) 衛星による漏水調査についてコスト削減の意図は分かるが、漏水箇所の発見漏れ等の精度の面でデメリットはないのか。

(事務局) 導入にあたり既に実施している事業体へ聞き取り等は行ったが、採用して時間が経過していない事業体が多く、メリットデメリットが判明するのはもう少し先になるかと思う。

(委員) コスト削減という意味では賛成ではあるが、他自治体では陥没事故等が起こっているため、漏れがあると問題かなという思いはあるので、他事業体への聞き取りを引き続き行ってほしい。

(委員長) ビル等の下にも管渠があると思うが、これら障害物がある場合はどうなるのか。

(事務局)ビル等の下にある給水管はほとんどが2次側、個人所有の管路であるが、衛星による漏水調査の対象は1次側、市所有の管路を調査するものである。

波長が長いため、地中3m程度調査できるという話は聞いている。

(委員長)実績が積み重なった後でいいので、改めて結果等について報告してほしい。

(委員)現在840kmを3年かけて調査しているとのことだが、衛星による漏水調査でこの期間が短縮されるということではないのか。

(事務局)1年目に衛星による漏水可能性管路の絞り込み、2年目に該当管路を対象とした従来の調査、3年目に漏水発見箇所 of 修繕を予定しているため、3年で実施する形となる。

(委員)近隣の自治体で、同様に衛星による漏水調査を行っているところはあるか。

(事務局)把握しているのは、福岡県では北九州市、筑紫野市、直方市であるが、これ以外の自治体でも実施している可能性がある。

#### ●工業用水道事業

(委員)工業用水道の恩恵を受けているのはどのような事業者か。

(事務局)工業団地に誘致したのは現在6社ある。

#### ●下水道事業

(委員)経営戦略の目標項目に料金水準の定期的な見直しとあるが、どういった意味か。

(事務局)安定した経営を行うため、収入、支出の将来推計を考慮したうえで、使用料の水準が適正化どうかの検討を定期的に行うという意味で記載している。

(2) その他

○事務局より下水道管路の緊急点検について、資料 1-7 を用いて  
説明

以上